

いては、現在どのような御検討が進められているのでしょうか、そして花博の盛り上げを図るなどPRのため、例えば花博開催百日前などのイベントの場で、各パビリオンの女性ガイドの制服を披露されてはいいかがかと存じますが、あわせて生活文化部長の御所見を伺いたいと存じます。

ところで、花博の開催を間近に控え、内外から大阪を訪れる人々も増加をしております。今や国際文化都市としての装いを身につけていくことが本府にとっても重要な課題でございます。また、大阪は、日本の繊維産業発祥の地であります。

本府もデザインナー育成のための大阪コレクションの定期開催や世界初の総合的なファッションイベントとしてのワールドファッションフェア八九を企画されるなど、ファッションやデザイン産業の振興に大変力を注いでおられます。

しかし、一方で、おひざ元の府の女子職員の事務服は十年一日のような状態に置かれております。本府みずからのイメージアップにもつながる職員の皆さんの事務服について、余りにもむとんちゃくであったと言えるのではないのでしょうか。

府の被服貸与規定では、女子職員の事務服については、本人からの申請により貸与されております。現在、大阪府の知事部局に勤められている事務系の女性職員のうち、九六%の女性職員がこの事務服を実際に着用されております。職員の

皆さんのすべてが喜んで着ていらっしゃるだろうか、私は必ずしも満足していらっしゃらない方もいらっしゃるのではないかと、こんな思いでいっぱいあります。

というのも、本府では、昭和四十年代の末に被服改善委員会を設置をし、昭和五十年に現在の事務服に改正されて以来、既に十数年経過しております。それでなくとも、色彩豊かなファッションの変遷は非常に短いサイクルになっている時代に、十四年間放置されていることへの批判があつて当然かと思ひます。淀屋橋かいわいと比べて、本府の事務服のイメージは余りすっきりしないな、やぼったいな、暗いイメージだなと感じるのは私だけでしょうか。

本庁だけでなく、府民センターを初めとする本府の施設に勤務する職員の皆さんが身につけておられる事務服は、今の議場におられる皆さんがバッジをおつけになっているのと同様に大阪府の顔であるとも思うのです。行政の文化化が求められ、府政についてもイメージアップが叫ばれているとき、まず隗より始めよという意味で、第一線で働く女性職員のイメージアップが今こそ必要ではないかと思ひます。

本府女子職員の勤労意欲向上の観点からも、機能的かつファッションナブルな事務服に改めるべきだと思いますが、岸知事におかれましては、現在の女子職員の事務服についてど

のようなイメージをお持ちでしょうか、また職員に対する事務服に関するアンケート調査を実施するなどして意見を聞き、女性職員が生き生きと誇りを持って働けるように早急に改善すべきであると考えますが、知事の御所見をお伺いしたいと思います。

以上で私の第一回目の質問を終わらせて頂きます。御清聴ありがとうございました。(拍手)

○副議長(川村 三郎君) これより理事者の答弁を求めます。  
知事岸昌君。

(知事岸昌君登壇)

○知事(岸 昌君) 平野議員にお答えを申し上げます。

豊かな時代、生涯学習時代を迎えまして、府民の音楽に対するニーズは、ますます質の高いもの、より多様なものへと変化しているように思います。

先般、府民劇場賞を贈呈させて頂いたわけでございますが、その会場は大フィルの演奏が行われる会場でございますが、あの広いフェスティバルホール一階から三階まで満席のように見受けられまして、今さらのように驚くとともに認識を新たにしたところでございます。

大阪府におきましては、府民に音楽鑑賞の機会を提供いたしますため、昭和二十七年に大阪府音楽団を設けまして、吹

奏楽の分野で演奏活動を行ってまいりましたが、このような府民のニーズの変化に対応いたしまして、平成元年度には新たに二管編成の管弦楽団を設け、その運営を大阪府文化振興財団に担わせたいと思つておるところでございます。

音楽団におきましては、常任指揮者、マネージャー等のスタッフや演奏者に一流の人材を国の内外からお招きいたしまして、中規模楽団の特性を生かした柔軟な編成のもとで、バッハやモーツアルト、ベートーベンなどバロック派から古典派にかけての曲を中心に、質の高い個性のある演奏活動を行うことによりまして、在阪のオーケストラとも共存しながら、芸術性の高い、我が国有数の管弦楽団を目指してまいりたいと存じております。

また、新管弦楽団が演奏活動を展開してまいります上でも、大阪におけるコンサートが可能なホールの充実が重要でありますことは、お示しのとおりと存じます。

現在、ザ・シンフォニーホールがあり、来年オープンされると伺つておりますみみホールなど民間のホールもございしますが、市町村におきましても、最近ではグランドの高い施設が順次整備されておるわけでございますが、今後、大阪府といたしまして、中核的な文化施設を体系的に整備してまいります中で検討を行つてまいりたいと考えておるところでござ